

---

# 別世界

岡崎 朱羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

別世界

### 【Zコード】

N7245E

### 【作者名】

岡崎 朱羽

### 【あらすじ】

僕の世界は他人とは違うんだ…。障害を持つ者だけが力を手にできる。ギアス。それが力の名前だ。

## プロローグ（前書き）

どうも。瀬能 夏紀です。この主人公は私の分身なんです。可愛がつてくださいね。半分私自身を書いているからなんんですけどね。

## プロローグ

僕はこの輪の中にいていいのだろうか？僕だけなんだ…障害を抱えているのは。生れつき視力の弱い僕は…。

お前には力をやろう。しかし、それには今までの人生とは違うぞ？  
それでも欲しければやろう。ギアスを！！

何だろう…。夢を見たんだ。力…ギアス。何なんだろうか…。ん?  
さっきから身体に違和感を感じる…。胸…むね！？パイ！？うそお  
！？ありえねえ！…まさか…。ない！？そんな…。僕は女の子にな  
つてしましました…。

## 力を与えた者

「どうしよう…」「恵起きなさい…！」やばい…！ボクは天宮 恵。普通の高校一年だ。今、今世紀最大のピンチに陥っている。なんせ息子が娘になつてゐるんだから。

「起きなさい…！」母さんが布団を剥がす瞬間『全く…早くしなさい』と耳からではなく脳に直接聞こえた。これが力なの？ギアスなの？とりあえず隠しつつ…

「恵、あんたその身体どうしたの？」ばれた…！…とりあえず…。食事が済んだので自室に戻るとそこには見知らぬ美少女でも美少年でもなくハムスターがいた。立つてゐる。二足歩行で。

「おう、食事は済んだか？」ダレッスカ？喋つた…。

「戸籍変えるから家族呼んでこい」何これ…？ハムスターに命令されてるんですけど…。何はともあれボクは天宮 恵となつたわけだが…。

「学校に行けよ…！可愛い女の子達が見たい。」変態だ…ハムスターの分際で…！さつきから

「パンチラパンチラ」と連呼しないでいただきたい。ちなみに変態ハムスター、名を『ハム』といつ。そのまんまやねん…！

「たくよお～何でめぐはペチャパイなんだよ…」叫ぶな…気にしてんだから言うな…！禁句だよ…！

「そういうえばギアスって何？」

「なんだ？さつきお母さんの心の声が聞こえたろ？あれだ。まあ、違う能力を持つた奴もいるけどな」違う能力？何だつて？

「障害を持った者だけがギアスを手にできるのさ。お前のは心の声が聞こえたり、真相も知ることが出来るんだ。あとギアス能力者は靈的 existence も認知できるのさ。それも制限無しで。」

「ボクを女の子にした理由は？」

「偶然だね。一度もないよお前のケースはね。」軽々しく言つたあ

～！～ボクはゼリなるのぉ～！～

めぐです。最近暑いですね。

全くだね。どうも作者の瀬能 夏紀です。

夏紀さんは夏バテですか？

ん？私はねえ～年中バテてるよ。

お大事に…。では

「次回もお楽しみに～」

学校に行く。（前書き）

大変お待たせしました。

## 学校に行く。

「皆にお知らせしたいことがある！！天宮は本当は女だつたらしい。家のしきたりで今まで『男装』していたそうだ。これからは女子として扱う様に」めんどくさそうに言つたこのバカ教師こと町永 美奈子。心読んでやるわ！！《ゲームしてえー》。タバコすいてえー。つーか、仕事めんどくさい》はい、死ね。このバカ教師！！一トにでもなつてしまえ！！

《かわいい女の子いっぱいじゃねえか！！萌え…》お前もかあ！！とボクはハムにツツ『ミの意味を込め握り潰した。（一応、ハムはハムスターのぬいぐるみなので）グエ！！と音がしたがキニシナイ。「えと、天宮 恵です。本当は女の子です。これからは女子としてよろしくお願ひします。」

「メグ。今日から貴女はメグよ。天宮さんじゃよそよそしいもの。皆いいよね？」

「「「さんせい」」「「「委員長の呼びかけにより、ボクは女子としてやっていけそうだ。」

「委員長…ありがとう」

「なんで皆、委員長て呼ぶのよ…私は七海 佳奈子よ…」

「「「委員長は委員長だから」」

「なんで～～！」（以後、委員長つて事で）。

学校に来てよかつた。今まで以上に皆と馴染めそうだ。

家に帰つて来て驚いた。父さんが早い帰宅をしていた。

「我が娘、恵！！お帰り～」とか言いながら飛び付いて来た。

「キヤアアアア～～」ボクは叫んでしまった。その声に気がついた母さんが

「あんた、いっぺん死ね」と言いながら父さんを我が家の通称『お説教部屋』に連行していくのが見えた。ああ、我が家つて一体…。

「今口せんじ難走よ」ええーー！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7245e/>

---

別世界

2010年10月9日18時30分発行